

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-110	A-142	23-056 滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 三浦克之
題名 (原題/訳)		
<p>All-cause and cause-specific mortality among individuals imprisoned for driving under the influence of alcohol and drugs in Norway (2000-2016): a retrospective cohort study ノルウェーにおける飲酒および薬物使用運転による服役者の死亡リスク</p>		
執筆者		
Jamt REG, Bukten A, Stavseth MR, Bogstrand ST, Tverborgvik T.		
掲載誌		
BMJ Open. 2023 Dec 30;13(12):e078848. doi: 10.1136/bmjopen-2023-078848.		
キーワード		PMID
飲酒運転、薬物使用運転、服役者、死亡リスク、コホート研究		38159948
要 旨		
<p>目的: ノルウェーにおける飲酒および薬物使用運転による服役者の死亡リスクを明らかにする。</p> <p>方法: ノルウェーで 2010-2016 年に登録された服役者 96856 人について、飲酒および薬物使用運転による性・年齢を調性した死因別死亡オッズ比(aOR)と 95%信頼区間(95%CI)をロジスティック回帰で算出した。</p> <p>結果: 全死亡 8053 人、病死 3379 人、事故死等 4139 人であった。96856 人中、28393 人(29.3%)が飲酒もしくは薬物使用運転で、飲酒運転単独は 8898 人(9.2%)、飲酒と薬物使用運転が 16159 人 (16.7%)、飲酒とその他の危険行動が 3336 人(3.6%)であった。病死の aOR(95%CI)は飲酒運転単独 1.11(0.99-1.24)、飲酒と薬物使用運転 1.80(1.64-1.68)、飲酒とその他の危険行動 1.34(1.12-1.60)で、事故死等の aOR(95%CI)は 0.78(0.69-0.89), 1.45(1.34-1.57), 1.13(0.95-1.34)であった。</p> <p>結論: 飲酒運転単独による服役者は病死や事故死等の死亡リスク上昇を認めないが、飲酒と薬物使用やその他の危険行動による服役者は病死リスクと事故死等の死亡リスクの上昇を認めた。</p>		